とかち新聞
主筆 松山明
（発行所）北海道足寄町　とかち新聞社　電話5－2551番
毎月5の日発行　1部300円　1カ年前納の場合3,000円

五年後の總理大臣 中川一郎氏に十三票

三木内閣当時の昨年十月十日に中川一郎代議士が足寄町で国会報告会をひらいたさい、同代議士は

いまのところ三木さんもダメだし、福田さんもムリだし、大平さんも総理大臣は不適当だし、中曽根さんも若いけど空つきし信頼がない。そこで宮沢喜一さんあたりにサマがわりして人事を刷新しなければならない。そのあとは安部前農林大臣、そのあとには中川一郎に

という人がないわけではない

といっていました。

ところがこのほどテレビ朝日（北海道はHTB）では「五年後の総理大臣はだれか」の予想番組を放送しました。

テレビ局の方であらかじめ選定した現職の政治家は五十音順で

安倍晋太郎（自民党）
飛鳥田一雄（社会党）
石橋政嗣（同　〃）
太平正芳（自民党）
小渕恵三郎（同　〃）
河野洋平（新自ク）
河本敏夫（自民党）
佐々木良作（民社党）
竹下　登（自民党）
田　英夫（社会党）
中川一郎（自民党）
中曽根康弘（自民党）
長州一二（革新知事）
宮沢喜一（自民党）
宮本顕治（共産党）
矢野絢也（公明党）

の十六氏をあげたもので、与党八名、野党八名づつのなかに中川氏がかつて言明したように、そのなかに入っていました。

テレビ朝日では五年後の日本の政治状況はだれかをテーマに全国で二千名の世論調査にもとずいて十六人の政治家を選んだそうで、こんど五年のあいだに、すくなくとも衆議院と参議院の二回の選挙はあり、自民党がかろうじて政権を維持していくか、過半数を割って社会党を中心にした連合政権内閣ができるか、そうした判断のなかから選んだもので、選考のなかでは田中角栄、三木武夫両氏の可能性があるかどうか、木村俊夫、小坂善太郎、石田博英、船田中、山中貞則といった人々の可能性はないだろうか、明和生れの指導者として鳩山一郎、石橋湛山、太郎なども検討したが、なにしろ自民党からのワクは八名と割当されたので割愛せざるを得なかったそうですが、各新聞、調査社の政治部長、論説委員長らの選考による狭い門をくぐりぬけて登場した中川氏に対しては『自民党のタカ派といわれる青嵐会の代表格で五年後の自民党政権が右よりでかつ強力な単独政権である場合はノシあがる可能性がある』としています。

そこでこの推薦候補者に対して国会詰めベテランの政治記者百名によって五名連記投票がおこなわれた結果は

宮沢喜一氏	八〇票
大平正芳氏	五八票
河本敏夫氏	五〇票
安倍晋太郎氏	四八票
河野洋平氏	四四票
中曽根康弘氏	四三票
田　英夫氏	三四票
竹下　登氏	三二票
小坂徳三郎氏	二六票
鯊島一雄氏	二五票
中川一郎氏	一三票
長州一二氏	一二票
石橋政嗣氏	七票
矢野絢也氏	七票
佐々木良作氏	六票
宮本顕治氏	二票

となりました。

中川氏が指摘していたように、党員の宮沢氏がトップを飾り、安部氏も四位にランクされたものの、当の中川氏は十一位でしかも五年後の自民党政権がおよびでかつ強力な単独政権である場合とされているので、果して五年後ともなれば自民党の単独政権などはあり得るのかどうか、逆に社会党を中心とする革新連合政権の時代に入っているかもしれないし、それでなくても民主・人権・平和を基調とする現憲法を改悪するための衆参両院で三分の二以上の保守勢力の結集はあり得ないので、右よりのタカ派の出番は遠のいて、むしろ平和憲法に忠実な政治指導者の登場となりそうです

ニュースを斬る

◆…独立国で軍隊をもたない国はないとして、平和憲法がジャマでしようがないのが自民党で、それでも警察予備隊から保安隊へ、さらに自衛隊へと成長して、いまでは装備だけは戦前の軍隊どころではないカタコウとなつています。

◆…これでは平和憲法はどこへいつたのかあつてなきが存在となりつつありますが、このごろは南朝鮮からアメリカ軍隊の撤収撤退計画がすすめられるので、その肩替りの出番とばかりに喜んでいるのが自民党とその支持者の財界ではないでしようか。

◆…自由社会と称する資本主義国が二の経済大国にノシあがつた日本として日

だれが国を守るのか

本国民を守るものかどうかということです。

◆…島国の日本はこちらからチョカイをかけないかぎり戦争はあり得ない筈で、これまでも自衛の名によつてこちらから侵略戦争を仕掛けたのが日本で、それも天皇のためというのは消滅で三井三菱、住友、安田などの財閥のために血を流したようなものです。

◆…「遠からんものは音にも聞け」式の防衛論の戦争なら別として、近代戦争は一瞬を争う先制侵略攻撃が最大の防衛で、徴兵制を布いて強制的に国民総動員にでももつていくのでなければカッコウはつきません。

◆…かりに戦争になつたとしても自衛隊の基地、施設を守るだけが精一杯で、サラリーマン自衛隊員が金権汚職の自民党政府のために命を捧げてーはムリなはなしで、ヘタに軍隊はもたないで、どこの国とも仲よくしていくべきです。

暑中お見舞申しあげます

株式会社斉藤組
取締役社長　斉藤　昇
足寄町　T五－二三五三

株式会社石田組
代表取締役　石田富男
足寄町　T五－二六六五

有限会社大川組
代表取締役　大川義夫
足寄町　T五－二四四三

有限会社河向組
取締役社長　河向一夫
足寄町　T五－二六六九

道東建設工業株式会社
取締役社長　小林道輝
足寄町　T五－二五二八

有限会社森下組
代表取締役　森下光吉
足寄町　T五－三一九四

有限会社木村建設
代表取締役　木村春三
足寄町　T五－二五二九

有限会社外田組
代表取締役　外田昭七
足寄町　T五－二〇四五

有限会社能登組
代表取締役　能登勇次郎
足寄町　T五－二五三八

日新工業株式会社
代表取締役　森本章子
足寄町　T五－三一八六

秋林建設株式会社
代表取締役　秋林專三郎
足寄町　T五－二三五六

有限会社新津組
代表取締役　新津春雄
足寄町　T五－二六二六

株式会社平野組建設工業
取締役社長　平野雅浩
足寄町　T五－二五三四

有限会社杉山組
代表取締役　杉山昇夫
足寄町　T五－二三六六

有限会社鳥羽組
代表取締役　鳥羽生一
足寄町　T五－二〇八〇

有限会社大川建設
代表取締役　大川清治
足寄町　T五－二五二〇

有限会社協栄建設
代表取締役　小林直道
足寄町　T五－二五六九

有限会社西尾建設
取締役社長　西尾　要
足寄町　T五－二〇五六

有限会社大須賀組
代表取締役　大須賀金蔵
足寄町　T五－二〇五四

足寄町建設業協会
会長　斉藤　昇
副会長　石田富男
同　木村春三
事務局長　江田春雄